

## "SENOGUIDE-C" 基本使用法

昼間撮影		月又は月光風景撮影	
準備	□ ← 季節と時刻	① ① 用意	天候 ← A S A 感光度
① ① 用意	天候 ← A S A 感光度	② ② 撮影時	(月) 影の長さ → (M) ~ D ~ )
② ② 撮影時	被写体 ← 時刻又は影の長さ	"	(満月風景) 影の長さ → O × H
③ ③ 結果	F ↔ Sec. 又は [LV] → LV	③ ③ 結果	(月) F ↔ Sec. (風景) F ↔ 秒を時とする
夜景各種と電灯光下撮影		ガイドナンバー (GN)	
① ① 用意	[N] ← A S A 感光度	① [GN] ← GN (& M)	被写体に明暗があるとき
[N] ① 撮影時	[N] → 夜景各種	② F ↔ (GN & M)	
又は [M] ① "	電灯 (W) ← 光源被写体間 (M)	暗い	ダイヤル回転 [D] ← 1/2 ~ 1F 目盛
③ ③ 結果	F * → * Sec. 又は 区普 → LV	明るい	ダイヤル回転 → [L] 1/2F 目盛

## 特 長

40数年の歴史とノウハウが保証する正確度                      電気露出計はTTL方式でも画面全体，EE方式では画面の数倍のバックを計りますから，バックの明暗により最大過度8倍，不足4倍位の誤差を生じます。これに反し計算式の本器「セノガイド」では，目盛の選択誤差を入れても最大 $\pm 2$ 倍以内です。

昼でも夜でも片手1回操作                      労力をいとわなかった昭和13年頃，すでに本器は開式露出計として「ワンタッチ・ワンハンド方式」を打出した先覚者です。

露出の百科辞典                      一般昼間は勿論，赤外撮影・ライトバリュー・ガイドナンバー及び夜間の全般すなわち「夜景・舞台・花火・映画及びテレビ画面・各種電灯光下・月及び月光風景」など電気露出計も及ばない広範囲の露出が分かります。

1目で分かる万国共通全国解式                      外人でも子供でもベテランでも，またそのまま世界全域に使用できます。

機構が合理的で体裁よく携帯に便利                      目盛盤は自動固定式，梨地クローム色の硬質アルミ合金製，大きさはほぼ名刺大です。カメラヘクリップオン可能。

■基礎使用法.....表紙	[6] 夜景各種撮影..... 19
〔1〕 昼間撮影 ..... 6	■映画及びテレビ画面, 花火..... 19
■天候分類 ..... 7	〔7〕 電灯光下撮影..... 21
■影の長さ..... 9	■人工光下被写体詳細類別表..... 23
■ライトバリュー(LV)..... 10	〔8〕 月及び月光風景撮影..... 24
■昼間被写体詳細類別表..... 11	〔9〕 ガイドナンバー(GN)..... 26
〔2〕 被写体に明(L) 暗(D) があるとき(昼夜共)..... 12	〔10〕 接写. 複写の場合..... 27
〔3〕 赤外撮影..... 14	〔11〕 シャッター速度と 動体撮影..... 28
〔4〕 露出寛容度(ラチチュード) と特例(昼夜共)..... 15	■季節と故当月..... 裏表紙
〔5〕 フィルター(昼夜共)..... 16	
■主なカラー写真撮影用 フィルター(昼夜共)..... 17	

# 関式露出計セノガイド C 使用説明及 露出解説書

▶お急ぎの方及びベテランの方や使用法を度忘れされた方は  
表紙か「基礎使用法」をお読み下さい。

▶初心者の方や、より正確な露出値を得たい方は  
これからの「説明書」をお読み下さい。

▶説明書中の【注】は 読まなくても使える様に図解式に  
なっておりますが、より深い写真露出の理解とより正確さ

をお求めの方の為の解説です。 昭和 55年 4月20日 第1版発行

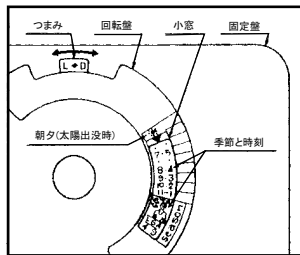
---

発行 株式会社 関 研 究 所  
川崎市中原区木月3-998  
〒211電044(422)3 8 2 6

著者 関 実

---

露出計本体の資料及び本説明書は  
無断転用及び転載を禁じます。



## 〔1〕 昼間撮影

準備—小窓へ撮影時の季節と時刻を現わす

例えば 明るい春秋の季節では……

「つまみ」を回わして、回転盤上の「小窓」へ  
「明るい春秋図, LSA, 4—9と時刻」を現わす。

この操作は 撮影前に行えばよく、目盛は自動固

定式になっていますから、季節が変わらない間は再操作の必要がありません。

【注】季節図下の「LSA」は明るい春秋, 「4・9」は日本の該当月を示す。

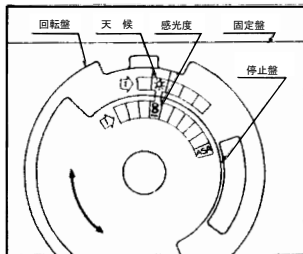
季節と弦当月は表示のものは北緯45° ~25°, 外国は裏表紙の表を参照のこと。

または表によらずに季節図のみによつて半断しても差支えありません。

つまみ の回転は「L←」が明「→ D」が暗, 正規セット時は文字部が凹みの中央)

合わせる際は 上下の仕切り線を正確に小窓の縁と合致させないと誤結果を生じます。

時刻は 内側細字が「午前」外側太字が「午後」, 朝夕は上方の「出没図」を採用。



① ①用意—天候とフィルム感光度を合わせ

例えば フィルムの感光度はASA100, 天候は晴天とすれば・・・・・・・・

「停止盤」を回わして感光度目盛上の「100」を回転盤天候目盛上の左から2番目の「晴天図」へ合わせる。

この操作は 撮影前に行えばよく、目盛は自動固定式になっていますから、フィルムと天候が変らない間は再操作不要です。

【注】▶天候は 左より快晴・晴天・薄晴、曇天・暗曇を示します。

快晴 青空が澄み渡って紺色を帯びた様なとき。(都会では殆ど見掛けません)

晴天 もっとも一般的な晴の状態、青空がいくらか白味を帯びた様なとき。

—中間— (春晴) 春に多い、晴天より幾分空に白味が多いとき。

薄晴 太陽かかすんだ様になっているとき、但し地上に淡い影がうつる程度

—中間— (薄曇) 薄い雲があるとき、但し太陽の位置は分かるが地上に影が無い。

曇天 もっとも一般的な曇の状態，太陽の位置は認め得ず。明るい雨天等もこの項。  
－中間－（雨曇）普通の雨や雪降りなど，割合暗い曇。

暗雲 非常に暗い曇りの状態，夕立や嵐のとき等。

これらの分類は 太陽中心の局部的天候が主体で，降雨の有無には関係ありません。  
従って周囲が晴でも太陽が雲にかくれていれば曇，曇でも太陽だけが現われていて被  
写体に陽が当たっていれば晴です。

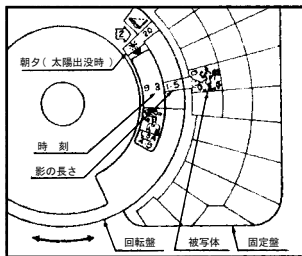
判断に迷うときは 下段の天候（暗い方）を採用して下さい。

フィルム感光度は カラー及び白黒両用で，カラーの場合はD（デイライト）タイプ  
（普通）が基準です。

TB（3200° K 写真電球用）タイプ，TA（3400° K アメリカ製フラッド用）

タイプの場合は色温度調節用のフィルター（アンバー色・ミレッド変換値+130～  
+100）を用い，その露出倍数値だけ減じた感光度を用いて下さい。

フィルターに関しては 後述の「フィルター」の項を参照して下さい。



② ② 撮影時—被写体へ時刻又は「影の長さ」を合わせる

例えば 前例と同じ季節，同じフィルム，同じ天候下で「戸外の人物」を午後3時頃写すとすれば  
 . . . . .

「回転盤」下方を指先で回わして，時刻目盛上の午後の「3」（外側太字）を，被写体目盛上の

「戸外の人物図」（上から4段目）へ合わせる。

或いは 時刻の代りに，その右側の影の長さ「1.5」を合わせる。

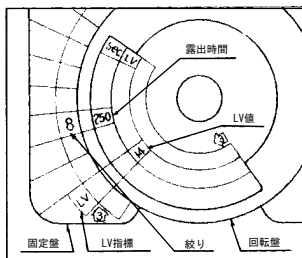
【注】被写体の詳細は 後記「昼間被写体詳細類別表」を参照して下さい。

時刻は 内側細字が「午前」，外側太字が「午後」，朝夕は上方の「出没図」を採用。

▶ 影の長さは 撮影時の垂直物体の水平面へ映る影の長さをその垂直物体の長さで割った倍数を示します。例えば物体に対して影の長さが1.5倍なら「1.5」となる。

時計が無いとき，外地へ行ったとき，月光撮影（後述）などの場合に用います。





③×③ 結果—そのときの絞りに対応する露出時間を見ればよい

例えば 前例の結果はレンズ絞りを「F8」とすれば……………

固定盤の絞りF目盛上の「8」に対応する停止盤上の露出時間sec. 目盛を見れば「250」となりますから、シャッターは「1/250秒」となる。

▶ LV値で求める場合は、固定盤上のLV指標に対応する停止腰上の「LV」値を見ればよく、本例では「14」となる。

【注】露出時間 (sec.) は黒字はシャッターと同じく分母値で示し、下方の白抜字は直擦秒を示します。即ち黒字60は1/60秒，白抜4は4秒を示します。

▶ LV (ライトバリュー) とは 露出量表示の系数で，シャッターの分母をS，絞りFとすれば…  $LV = \log_2 SF^2$  で現わす。例えば絞りF1，シャッター1秒とすればLV=0，絞りF8，シャッター1/60秒とすればLV=12です。

▶ 昼間被写体詳細類別表（本体の被写体図と対照のこと）

戸外 (晴でも日陰なら2目盛下) (晴なら日向の場合)	広い雪景	白 雲	遠景主体で前景は暗くなっても差支えない場合。
	広い氷景 (普通雪景)	遠 山	遠山主体で前景は暗くなっても差支えない場合。 明るい前景のある雪景色。明前景の水景1/2目盛下
	水辺人物静物 (雪中の人物)	R 赤外撮影 広場(普通)風景	海水浴場の人物静物, 運動会。明るい前景のある風景 スキー場人物等(周囲が明るければ1/2目盛上)
	戸外の人物 及び静物	狭い風景 (近景)	前景背景共に割合明るい人物全身等。近い風景。 (濃緑樹・黒色・陰等が多い時は1/2~1目盛下)
	戸外人物 の大写し	戸外静物 の大写し	戸外の人物静物の大写し。更に近い接写の場合は 被写体距離に応じ余分の露出が必要(後述)。
物 陰 (晴なら日陰)	明るい戸外物陰の人物・静物		ビルの陰・山の陰等遮蔽物から離れている場合。
	暗い戸外物陰の人物・静物		樹下・軒下等上部に遮蔽物又は遮蔽物に近い時。
	陽に近い室内の人物・静物		窓際・縁側・車内等
	普通室内の人物・静物		洋室・縁側のない和室 陽から遠い時は1目盛下)

【注】同じ被写体 例えば人物や前景ある遠山の場合、遠山が主体なら「遠山」、前景が主体なら「普通風景」、人物が主体なら「戸外の人物」の類別を採用します。双方を満足させたい場合は フィルター又はフラッシュや反射板等を用います。

## [2] 被写体に明 (L) 暗 (D) があるとき…… (昼夜共)

この項は初心者や簡便を主とする方は考えなくても差支えありません。

明るいときは 回転盤を「→L」方向へ通常は1/2F目盛回わします。特に明るいときは1目盛回わします。(レンズを絞る)

1F目盛とは 絞りで1目盛分のことで、被写体分類1目盛と同じです。

- ▶ 例えば 絞りF4のとき1/2目盛→Lへ回わせれば絞りはF4とF5・6の間F4・5。  
暗いときは回転盤を「D←」方向へ1/2～1F目盛回わします。(レンズを開く)
- ▶ 例えば絞りF8のとき1目盛D←へ回わせれば絞りはF5. 6となります。

【注】電気露出計では以上の逆で暗いときは1/2～1F目盛分絞り，明い時は開く。

明るいときとは 被写体に明色が多いときを言い，下記の状態のときです……………。

白色系が多いとき 白衣の人物・白壁の背景・白い建物・天空・水面・広場・遠景などが多いときです。

反射の多いとき 水面・雪面・白壁などの反射が多いときです。

逆光に輝く 明色の半透明体(花びら等)や特に反射が強い場合……例えば逆光に輝く薄い色の花びらや雪面・水面など。

暗いときとは 被写体に暗色が多いときを言い、下記の状態のときです。……

黒色系が多いとき 黒色・濃茶・濃緑等の暗い色を多く含んだときや黒衣の人物等。

陰が多いとき 画面全体として陰を多く含めば暗くなります。夜景はこの傾向が強。

逆光などで暗くなったのは、陰が多いものと見なします。

濃緑樹が多いとき 濃緑系は写真的には暗い色です。

雄琴体距離が近いとき も反射の影響で暗くなります。

日陰の風景 朝夕に多く見かける晴天でも日が当たっていない風景（2目盛下）

各種光源の効率が悪いとき 反射器が基準より悪いとき、照明角度が45。以上のとき、電源電圧が90V以下のとき等。

### [3] 赤 外 撮 影

赤外線影の場合は 赤外フィルムを用い、下記注意以下はすべて（天陰・時刻等）普通写真の場合と同じ操作です。

赤フィルターを 必ず使用すること。（但しフィルター操作は不要）

感光度は一般に赤外感度、即ち赤フィルターを付した時の感光度をその儘用いる。

被写体類別は 遠近にかかわらず、戸外はすべて[R]（上から3段目の普通風景欄）を採用のこと。

絞値は 出来るだけ小絞りを用います。

ピント合わせは R指標（レンズ指定）に修正のこと。

#### [4] 露出寛容度（ラチチュード）と特例……（昼夜共）

露出の寛容度（ラチチュード）とは、適正露出でなく過度や不足の露出を与えた場合、どの程度までその過不足が許されるかという実際上の露出の中のことです。

これは一定のものでは無く、フィルムの持つ寛容度が大きく、被写体の明暗比（コントラスト）が小さい程大きくなり、この反対の場合は小さくなります。

ネガカラー及白黒フィルムでは 通常、過度は4倍、不足は2倍位迄の露出の過不足は許されます。

リバーサル（ポジ）フィルムでは 焼付調整ができないので、良い発色を求める場合は、過度2倍、不足1.5倍位です

この特性を 被写体に応じて活用すると効果的な結果も得られます。（感光特性活用）人物の場合は1.5～2倍位過度気味にすると背景から浮き上って、顔が色白気味となり、白いドレス等の描写が繊細になります。（白黒の場合は現像を浅目にする）

広い風景の場合は 逆に不足気味にするとコントラストが付きませんが、本器での広い風景等は幾分この傾向を見込んで目盛ってあります。

露出は不足より過度へ 以上に説明した様に判断に迷った時は過度気味にし下さい。

## [5] フィルター……… (昼夜共)

フィルターをかけた場合 フィルターは入射した光の一部を吸収しますから、使用のさいは使わない場合より露光量を増加する必要があります。その増加率はフィルターに指示してあり、露出倍数值又は絞目盛減値で示してあります。

フィルターを重ねた場合 露出倍数值はその積となり、2倍と1.6倍を重ねた場合は $2 \times 1.6 = 3.2$ 倍となります。絞目盛減値はその和となり、1と%を重ねた場合は $1 + \text{タ言} = 1\%$ 目盛減、即ち絞目盛を1目盛と更に2/3目盛明るい方を採用する。

絞目盛を変える方法 例えば露出倍数2倍のときは絞り目盛を1目盛明るく開く。

露出倍数3.2倍のときは、 $3.2 = 2 \times 1.6$ ですから絞り目盛を12/3目盛明るく開く。

感光度を変える方法 この方法は露出倍数分だけ感光度を低目にセットします。

感光度の1目盛は2倍、1/3目盛は1.26、1/2目盛は1.4、2/3目盛は1.6倍です

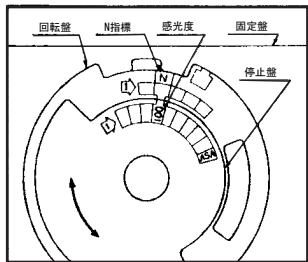
この方法はいちいち絞りを忘れてたりしないので、フィルター常用の時便利。

フィルターの詳細は 一般カラー撮影の場合は次表を、更に詳しくは当社発行の「ゼラチンとシートフィルター（及びガラスフィルター）の選び方と使い方」を参照して下さい。

コダック ゼラチン	フジ シート	ケンコー ガラス	色	露出 倍数	絞目 盛減	フィルムの種類	ミレッド 変換値	用途
1A	SC 40M	1B	淡ピンク	不用	不用	D	スカイ ライト	晴天屋外・晴天遠景
85B	LBA 12	W 12	アンバー	2	1	TB	+131	晴天屋外 晴天遠景
81D	LBA 4	W 4	淡い黄	1.4	1/2	D	+42	明るい雨天と曇天 明るい日陰
85C	LBA 8	W 8	アンバー	1.6	2/3	D	+81	暗い雨天と曇天・暗い日陰
82B	LBB 4	C 4	淡い青	1.5	2/3	D	-32	晴天の朝夕戸外
81A	LBA 2	W 2	淡い黄	1.2	1/3	D	+18	ストロボ (精密調整)
80A	LBB 12	C 12	青	4	2	D	-131	写真電球 (3200k)
不用	不用	不用	-	-	-	TB	0	"
80A+82A	LBB 16	C12+C2	青	5	2 1/3	D	-152	普通電球 (2800°K)
82A	LBB 2	C 2	淡い青	1.3	1/3	TB	-21	"
20M+20Y	20M+20Y	FL-W	淡い赤	1.7	2/3	D		蛍光灯 (昼光色)
		PL	灰色	3~4	1 1/2 <sub>2</sub>	D	偏光	遠景 ND代用他万能

【注】ミレッド変換値とは色温度変換に便利の様に設けられた数値（コダック基準）。





## 〔6〕夜景各種機影

昼間でも人工光の方が明るければ本項扱。

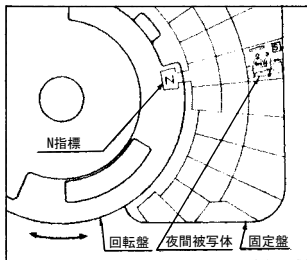
①⇐①用意—「N」指標と感光度を合わせる。

例えば フィルムの感光度を100とすれば……

「停止盤」を回わして感光度目盛上の「100」を回転盤上の「N」指標（天陰目盛晴天図の上）へ合わせる。

この操作は 撮影前に行えばよく、目盛は自動固定式になっていますから、フィルムが変らない間は人工光下（夜景・電灯光下）では再操作の必要はありません。

【注】フィルム感光度は カラー及び白黒両用で、カラーの場合はD（デイライト）タイプが基準です。このタイプでは画面が黄味がかかりますので、色温度調節用フィルター（青色・ミレッド変換値-80~-160）を使用し、その分だけ感光度を減ず。TB（写真電球用）TA（アメリカ製フラッド用）の場合は通常フィルターは不要。ネガカラーの場合は 指定すれば焼付時に修正可能、フィルターは無くてもよい。フィルター は前出の表を参照して下さい。



## ② ② 撮影時—夜間被写体へ N 指標を合わせす

例えば 前例と同じフィルムで「明るい店内のスナップ」を写すどすれば. ………

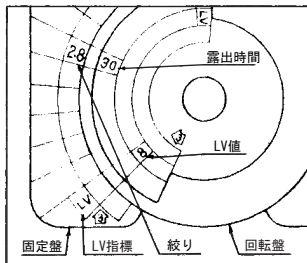
「回転盤」下方を指先で回わして N 指標（時刻目盛上方）を夜間被写体目盛（固定盤の一番右側）上の「明るい店内図」（上から3段目）へ合わせます。

▶ S はScreenの略，映画やテレビの画面を写すさいに合わせます但しシャッター速度は両者共1/30秒以下を用いて下さい。

▶ 「花火」の場合は「花火図」（上から4段目）へ合わせる。シャッター速度及び絞りに関しては次項を参照して下さい。

【注】被写体の詳細は 後記の「人工光下被写体詳細類別表」を参照して下さい。被写体に明暗があるときは 前記の説明を参照して下さい。

夜景各種は すべて固定盤最右側の被写体へ指標 N を合わせます。



めく苛結果—そのときの絞りに対応する露出時間を見ればよい。

例えば 前例の結果はレンズ絞りを「F2.8」とすれば……

固定盤の絞り (F) 目盛上の「2.8」に対応する停止線上の露出時間 (Sec.) 目盛を見れば「30」ですから、シャッターは「1/30秒とすればよい。

LV値は j区司指標に対応するLV値を見ればよく、本例では「8」とすればよい。

【注】映画・テレビ の画面を写すさいは1/30秒以下のシャッターを使用して下さい。これより速いと半欠の画面こなることが有ります。

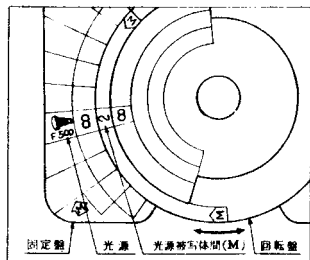
花火 は打上・仕掛共その燃焼時間より早いシャッターを切った場合を示します。燃焼時間より遅いシャッターを切るときは、その燃焼時間に対応する絞りを採用して下さい。

## 〔7〕電灯光下撮影

昼間でも電灯光の方が明るければ本項扱

① ① 用意—N指標と感光度を合わせる。  
操作は前回と同じ感光度も前回と同じとすれば  
本操作はセット済につき不要（感光度100）。

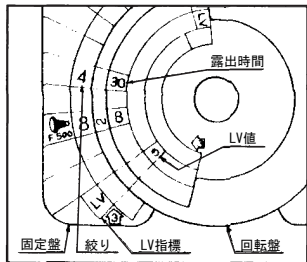
② ② 撮影時—使用光源のW（ワット）数  
と光源と被写体距離M（メートル）数を合わせ。



例えば 500Wフラッドランプにてランプから（カメラからでは無い）2Mの人物を写すとすわば……………

回転盤を回わしてその一番左側の距離目盛上の「2」（M）を固定盤一番左側の「F500, 写真電球乳」へ合わせる。

【注】電灯光の基準照射角度はカメラから見て正面～45°，普通電球及蛍光灯は普通笠付・光源電圧は90～100Vです（基準外は前記「被写体の明暗」を参照）。



3 3 結果—そのときの絞りに対応する露出時間を見ればよい

例えば前例の結果はレンズ絞りを「F4」とすれば……………

固定盤の絞り (F) 目盛上の「4」に対応する停止盤上の露出時間 (8sec) を見れば「30」ですから、シャッターは「1/30」秒とすればよい。

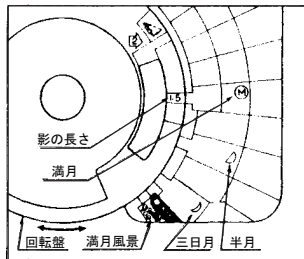
LV値は LV 指標に対応するLV値を見る。本例では「9」とすればよい。

【注】フィルムは 前記と同じく、カラーの場合はD (デイライト) 基準です。  
 各種電灯光ば 発光体そのままの光色が基準ですので「正しい発色」を要求する場合は色温度調節用フィルター (青色. ミレッド値-80~-160) が必要 (フィルター参照)。  
 カラー用リフレクターランプ (青色) を 使用する時は着色分だけ暗くなりますから「1」目盛上 (W数の少ない方) へ合わし、フィルターは不要です。  
 TB或はTAタイプフィルム を用い適合ランプを用いる時は、フィルター不要。

■人工光下被写体詳細類別表（本体の被写体図と対照のこと）

電灯光下・正面～45°照明)		夜 景 各 種	
20W 蛍光灯	普通笠付	普通スポット ライト下の人物	スポットライトに照された人物で明るい。 最明は1目盛上，暗は1目盛下
100W 普通電球	普通笠付	明るい舞台	明るいレビュー・明るい歌謡ショー 暗い舞台は1～2目盛下
40W 蛍光灯	普通笠付，1個 又は20W 2個	明るい店内 (スクリーン)	一流店・デパート内スナック等 映画及びテレビ画面(明暗1目盛上下)
F 250W	フラツド写真電球	普通店内	明るい食堂・明るい喫茶店
F 350W	”	花 火	打上・仕掛花火
F 50 W	”	普通店頭	明るい時1目盛上，暗い時1目盛下
S 500W	スポット写真電球	明るい街景(近景)	銀座通り等の近景(空は入らない)
S 1000W	”(500W 2個)	明るい夜景(中景)	銀座通り等の中景(空が少し入る)
		市街遠望(遠景)	明るい市街の遠望(背景や空が入る) 暗い時は1～2目盛下とする

【注】電灯はW数が増す程効率が良いが，表外は正比例するとして扱ってもよい。



## 【8】 月及び月光風景撮影

### 【月を写す】

例えば 感光度「100」天候「晴天」影の長さは「1.5」の時「満月」を写すとすれば. ....

① 用意「晴天図」と感光度「100」を合わせる。（昼間と同じ）

② 撮影時—影の長さ「1.5」と被写体Ⓜ（静物大写の所）を合わせる。

③ 結果一絞り「F8」とすれば「1/125」秒となる。

### 【満月光下風景を写す】

例えば 前と同条件で「満月光下風景」を写すとすれば……

① 用意—前に操作済につき、再操作は不要。

② 撮影時—影の長さ「1.5」を右下端「満月光下風景○×H」へ合わせる。

③ 結果一般り「2.8」なら「1/30」時間（秒を時とする）即ち「2分」です。

## 【注】

月光は 眼で見た感じより、太陽光に比べて赤味を帯びていますから、カラー撮影の場合は必要に応じてフィルターを用います。

月の撮影は (M) は満月, (D) は半月, (D) は三日月を示す。これらの露出値は作画用で、学術的にはこの約1/2露出でよい。半月と三日月は状態により中間目盛を使って下さい。

写る大きさは レンズの焦点距離の約1/100, 正確には0.00872倍です

月光下風景は 満月の時を示し、半月はこの約8倍（3目盛）の露出が必要。

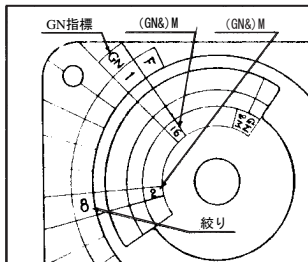
この露出値は月夜を感じを出す為、幾分アンダー気味にしてあります。

月を入れた月光風景双方の露出差が大きいので、同時に撮影しようとして月光風景に露出を合わすと月は動いて棒状となり、反対に月に露出を合わすと風景は写りません。

もし月を入れた月光風景を望む場合は二重写しするか、別々に撮影して重ね焼をします。あるいは近景にフラッシュを用いてもよい。

月光風景撮影の露出時間ば「秒」を「時間」(O×H)と見なします。例えば露出時間目盛の1/30秒は1時間=60分/30=2分となります。





## [9] ガイドナンバー (GN)

ガイドナンバーから露出値を求める場合は次の様にします。

- ① 固定盤左上部の **GN** 指標へ回転盤の「GN&M」目盛の **GN** 数字を合わせる。

例えば GN16とすれば……

GN指標へ「GN&M」目盛上の「16」を合わせる。

- ② 回転盤の「GN&M」目盛上の光源被写体間距離M（メートル）数字に対応する絞り目盛を見ればよい。

例えば 光源被写体距離を2Mとすれば……

GN&M目盛上の「2」に対応するF目盛を見ればよく、本例では「F8」です。

【注】ガイドナンバー（GN）とはストロボ撮影等に用い、露光量を示します。

レンズ絞（F）×被写体間距離（M）で現わされます。

自動式では この計算は不要ですが、その指示値は一番手前基準ですので、奥行のある被写体（集合人物）の時は、メーカー指示より1絞り開いた方が無難です。

## [10] 接写・複写の場合

被写体類別は 昼間は「人物静物の大写し図」を用い、人工光下はその儘を用いる。レンズ繰出式では（蛇腹又は中間リング使用）近くなる程レンズの焦点距離が伸び、従ってレンズ明るさは指示F値より暗くなるので下表参照の上露出増加のこと。接写用レンズをつけた場合は、レンズ表示のF値を用い、修正の必要有りません。表中の「\*」印のように被写体距離がレンズ固有焦点の10倍以上の時は無修正可。

被 写 体 距 離	固有焦点距離の倍数	1.5	2	2.4	3	6	* 11
	f 50mm の場合 (mm)	75	100	120	150	300	* 550
	f 75mm の場合 (mm)	112.5	150	180	225	450	* 825
露 出 倍 数		9	4	3	2	1.5	* 1.2
写る大きさ（被写体寸法の倍数）		2	1	3/4	1/2	1/5	* 1/10
伸びた焦点距離（固有焦点距離の倍数）		3	2	1 3/4	1 1/2	1 1/5	* 1 1/10

## [11] シャッター速度と動体撮影（35mmカメラ主体、他はこれに準ずる）

静止している物体 を手持ちで写す場合は、その時のレンズの焦点距離の逆数以上の速いシャッター速度を用いると無難です。熟練すれば更にその半分位遅いシャッター速度も可能です。例えばf50mmでは最低1/60秒以上（熟練1/30秒以上）、

f200mmでは最低1/250秒以上（熟練1/125秒以上）を用います。（35mmカメラ）

動いている物体 を写す場合、最も一般的な被写体に応じた被写体距離のとき、動体の横から写す場合のシャッター速度は下記を参照のこと。（f50mm, 35mmカメラ）

止っている人物等…………… 1/30～1/60秒以上

歩いている人物等…………… 1/125秒以上

競走している人物、割合遅い乗物……………1/250秒以上

早い自動車・列車・競馬・早い車内より……………1/500秒以上

斜めはこの1.5～2倍遅く、真直ぐは3倍位遅くてよく、被写体距離が「特に近いときは、より速いシャッター速度が必要です0

追い写し をして、背景を流して動感を出す場合は、以上より遅いシャッターを用います。通常は1/30秒前後が無難です。

“ S E N O G U I D E - C ” 季節と該当月

季 節	L . Su. 明るい夏	Ⓜ Su. 暑い夏	LSA 明るい春秋	DSA 暗い春秋	Wi 冬	Ⓞ Wi 寒い冬	主な適用国 「影の長さ」を用いるときはこの表は不要です。
日本 (月)	6・7	5・8	4・9	3・10	11~2		
北緯 45°~25°	6・7	5・8	4・9	3・10	11~2		日本・米・伊・中国 仏の南・メキシコ北・スペイン
北緯 55°~45°		6・7	5・8	4・9	3・10	11~2	英・独・スイス・ソ連 仏の北・米の北・カナダの南
北緯 25°~10°		4~9	3・2 10・11	1・12			比国・印度・台湾・香港・ハワイ アフリカ北・メキシコ南
10°~0°~10°		1~12					アフリカ中央・インドネシア ブラジル北・コロンビア
南緯 10°~25°		10~3	4・5 9・8	6・7			ブジラル南・アフリカ南 オーストラリア北・ボリビア
南緯 25°~45°	1・12	2・11	3・10	4・9	5~8		オーストラリア南・ニュージーランド アルゼンチン・チリ中央